

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105180
法人名	(株) メディックス
事業所名	グループホーム すずらん
所在地	松山市高井町 1 2 9 6 - 1
自己評価作成日	平成22年5月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個々の思いや意見を大事にし、今までの生活スタイルをなるべく崩さない様支援している。また利用者の方々、職員みんなの笑い声が聞こえてくるようなホームであるよう、日々頑張っております。
シーズー犬のゆう太がセラピー犬としてみんなの癒しとなっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では「あなたの希望に応える夢企画」に力を入れて取り組まれており、利用者個々の行ってみたいところに行けるような取り組みをすすめておられ、職員の体制や費用面等についても法人も応援してくださっている。又、「帰りたい」と言われる利用者には、ご本人やご家族のご事情等も踏まえて、できる限りその時に、意向を実行できるように努めておられる。
消防署の方の協力を得て、地域の方も20人程参加いただき、避難訓練を実施された。事業所の窓から大きな声で火災を知らせると、近所の方達が集まり、利用者が安全に避難できるよう協力をしてくださるようになってきている。電気調理器の使用や、日頃はコンセントの埃等にも注意し、火災を出さないよう気を付けておられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input checked="" type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 パートナーハウス すずらん

(ユニット名) もみじ

記入者(管理者)
氏名 布施 千秋

評価完了日 22年 5月 25日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) < 運営理念 > ・ 利用者の人格と価値観の尊重 ・ 利用者の自己決定の尊重 ・ 安心と意欲もてる自立生活への支援 ・ 家族、地域社会との交流。と掲げている	
			(外部評価) 事業所の理念を居間等の共用空間に掲示して、職員が日々、確認しながらケアに取り組めるようにされている。事業所では、利用者個々の行きたいところに出かけてみる「あなたの希望に応える夢企画」の取り組みを昨年度すすめ「個々の価値観の尊重、自己決定・意欲の向上」につながるような支援に力を入れて取り組まれた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 回覧板をまわしたり、ゆう太の散歩時に近所の方と会話をしたりと、交流を図っている。	
			(外部評価) 職員は、利用者と一緒に町内会の回覧板を回したり、事業所の愛犬の散歩等をされて、地域内には顔見知りの方も増えている。2~3カ月ごとの地区の清掃時には、職員が参加して地域の方々と活動をされている。昨年度は、新型インフルエンザの流行のこともあり、保育園児の訪問は控えられたようであるが、今年度は、園児との交流を考慮しておられた。中学生の職場体験を受け入れておられる。又、地区の夏祭りは、利用者の座席を用意して下さったり、事業所で避難訓練を行った際には、町内会長の方のお口添えで20名ほどの地区の方が集まり、一緒に訓練を行われた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ・ 同系列(かとれあ、こすもす)と、3施設合同の納涼祭を開催している。また季節行事の開催など	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域行事などへ参加させていただいている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議では、利用者の様子や活動等を報告されたり、外部評価結果や目標達成計画をもとにして、今後取り組みをすすめていくことについて具体的に説明されている。又、管理者の交替を報告されたり、介護保険についての質問等も受けられた。</p>	<p>事業所では、ご家族の協力等もいただきながら、さらなる「個別で、きめ細やかな支援に取り組んでいきたい」と考えておられた。会議に、多くのご家族の参加を得て、ご意見をうかがえるように、日程や会議のすすめ方を工夫してみしてほしい。事業所の取り組みを知っていただきながら、協力者を増やしていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>公民館、支所などを通じ、地域にあるサービスや行事などの助言等ももらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>生活保護受給者の方の生活や医療のことについて、市の担当者の方と相談しながら支援されている。運営推進会議では、避難訓練について「出火のおそれのある場所を職員で話し合いしてみてもどうか」等、提案やアドバイスをいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームでの話し合い、勉強会への参加、マニュアル作成等で身体拘束について理解している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者が日々のケアの場面を捉えて、身体拘束について職員に話しておられる。又、ミーティング時にも「身体拘束をしないケア」に向けて取り組めるよう話し合われている。ユニット出入口の引き戸には、自転車のベルを用いて、開閉時に「チリンチリン」と鳴るようにされていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止の勉強会に参加し、ミーティング等にて情報共有を図るよう努めている。 マニュアル作成している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・勉強会にできるだけ参加している。 ・成年後見制度を利用される方に対し関係者への連絡調整をおこなっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者、家族が十分に納得できるまで個別に誠意をもって対応にあたっている。また不明な点等あれば、いつでも相談にのっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、苦情等があれば、すぐに職員及び管理者が誠意をもって対応、対処するよう努めている。また、入所の際ホームの苦情相談窓口及び第三者機関相談窓口(松山市介護保険課など)の連絡先についても説明している。	
			(外部評価) 事業所便りの発行を再開し、行事や事業所独自の「あなたの希望に応える夢企画」の取り組みを写真入りで伝えておられる。3月に、法人内で職員の異動があったが、お手紙やご家族の来訪時等に自己紹介をしてご家族との関係作りにも努めておられる。又、海外におられるご家族とメールでやり取りしている方もある。ご家族からのご意見もあり「あいさつをするように」職員で話し合われた。入居間もない利用者には特に、ご本人、ご家族の気持ちを大切にしながら対応できるよう努めておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			一方的ではなく、職員の意見に耳を傾け一緒に話し合い協力しあう姿勢で対応している。	
			(外部評価)	
			管理者は、職員に相談しながら取り組みをすすめておられる。「集団生活の中で利用者は、我慢すること多いのではないか」という思いで、個別支援に取り組んでおられ、利用者が「行きたいときに行けたり、食べたいものが食べられる」ような支援を目指していきたくと話されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			勤務状況、実績など、定期的に把握されており、経験に応じた研修の受講を積極的に行えるよう取り組んでいる。また、才能を発見し強化している。	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			勉強会への参加や資料作成などで情報共有を図り、能力向上に努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす)等との行事を交えた交流会などを行っている。また、三施設合同<運営会議>にての勉強会を行っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			できる限り話をする機会を設けて、気持ちを受けとめる様努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>いつでも相談しやすい雰囲気をつくり、相手の気持ちをくみ取りながら一緒になって取り組んでいく努力をしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者本人と家族の希望、要望をふまえた上でどのようなケアプランが必要なのか話し合うようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者に俳句など、得意としていた分野について話しをしながら一緒に実施することで、職員は学んだり、アドバイスを受けたりしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の状態についての情報を共有し、行事や来所時等に話しをするなど、本人への支援方法などについて話し合っている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自由な面会時間や気楽に尋ねてきやすい雰囲気作りに配慮している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ご本人に聞き取ったり、意思を表出しにくい利用者には、ご家族に情報提供いただき、行ってみたいところに出かけられるような支援「あなたの希望に応える夢企画」に取り組みされており、ご本人が以前よく出かけておられた、お寺やお墓参りに出かけることを支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ホールにて同じテーブルに座る人の位置を配慮したり、いろんな話題を提供するなど、声かけをおこなっている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ・退居された後でもいつでも遊びに来れるような雰囲気を作っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思疎通が図れる場合は、本人、家族と話し合い意見を尊重している。意思疎通が困難な方は、何を求めているかを察知できるよう、職員同士話し合い等行い日々努力している。 (外部評価) 事業所では新たに、利用者の写真を中心に、個々のこれまでのことや、好き嫌い等の情報を集めておられ、職員の交替等がある場合は、新人職員が利用者個々のことを知るためにも活用されている。事業所では、利用者が意欲を持てるような支援に努力されており、調査訪問時にも、職員から、いろいろな話題でコミュニケーションを図りながら利用者の思いを探っておられた。「帰りたい」と言われる利用者には、ご本人やご家族のご事情等も踏まえて、できる限りその時に、意向を実行できるように努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の際、家族または本人に情報を得ている。また意思疎通が難しく、家族のいない方の場合、入居前の施設等から情報を得ている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員全員が把握し状況に応じて対応にあたっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			個々人の状況に応じ、本人及び家族と話し合い計画を作成するよう努めている。来訪時には、近況と共に家族へケア内容等の説明を行っている。	
			(外部評価)	
			ご本人の生活について、ご本人の思いやご家族の要望、職員の気付きや、又、生活保護受給者は、市の担当者とも相談しながら介護計画を作成されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			毎日介護記録を記入し、情報を共有している。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人、家族の要望に対して、その都度柔軟な対応を行っている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			避難訓練、地域行事の参加、地域のボランティアなど、積極的に参加している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人及び、家族の希望する医療機関へ適時受診でき るよう支援している。	
			(外部評価)	
			協力医療機関の医師が往診に来てくれるようになっ ており、ご本人の状態が変化した場合は、往診時にご家 族も事業所に来られて、医師と直接お話をするようにな っている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			個々に応じて看護職員に相談、協力しながら対応にあ たっている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院された際、定期的に面会を行い洗濯物等の交換を 行い、ドクターあるいは、看護師と情報交換を行い早 期退院等に努めている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			必要に応じ、終末期については家族や医療機関また職 員等で話し合っている。	
			(外部評価)	
			ご本人のご事情やご家族の要望等を合わせながら、事 業所で看とりを支援されている。これまでも複数の利 用者の看とりを経験されており、管理者を中心に職員 で協力しながら支援をされた。運営推進会議時には協 力医が「終末期の介護について」講話くださり「家 族・医療・介護」で方針を共有することの大切さをお 話いただいた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			ほとんどの職員は応急手当の講習をうけており、また急変時対応マニュアルを作成している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			地域の方々の協力を得、避難訓練を実施、運営推進会議による町内会との連携体制等、日頃から働きかけを行っている。	
			(外部評価)	
			消防署の方の協力を得て、地域の方も20人程参加いただき避難訓練を実施された。事業所の窓から大きな声で火災を知らせると、近所の方達が集まり、利用者が安全に避難できるよう協力をしてくださるようになっていた。電気調理器の使用や、日頃はコンセントの埃等にも注意し、火災を出さないよう気を付けておられる。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			記録等の個人情報事務所の鍵付きの棚で保管しており、職員による個人情報の秘密保持も徹底している。入居者への言葉かけも相手の立場に立った気持ちで対応するよう心がけている。	
			(外部評価)	
			ご家族の希望もあり、ご本人も安心されるということもあって、職員が利用者を「～ちゃん」と呼んでいる場合もある。個々の性格等も踏まえ、対応できるよう努めておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			わかりやすく、ゆっくりとしたペースでお話しし、自己決定を尊重しながら、生活の支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理強いせず、本人のしたい事を取り入れながら、支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望にて、理美容(カット、髭剃り等)美容師に訪問してもらい実施している。洋服など本人の好みに合わせて、一緒に購入するようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備等は一緒にできる方があまりいらっしやらない (外部評価) 決まった献立で業者から食材が届くようになっており、事業所で調理するようになっている。職員は、食事のメニューを利用者に伝えながら介助されたり、テレビの話題や食材のこと等、職員から話題を作り、利用者が楽しく食事できるよう雰囲気作りに努力されている。行事や誕生日等には事業所でお寿司等、利用者のお好きなものを聞いて調理することもある。事業所では「食べたいものが食べられる」ような支援を目指しておられる。	利用者が調理等にかかわることについて、現在は「興味を示される方は少ない」ようであるが、事業所で利用者の希望を聞きながら食事を作るような機会を増やしたり、食事一連を通じて、利用者がかかわるような場面を作り、さらに食事を楽しむ支援につなげてみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量、水分量の把握に努めている。バランス良く栄養摂取できるよう、食事の形態、量について常に検討し、必要に応じ主治医の意見を聞いている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 夜間は確実に実施できているが、毎食はできていないこともある。食物残渣はないか、また服薬後の確認等はおこなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			個人に合わせ、プライバシーを配慮しながら排泄パターンを把握し対応している。	
			(外部評価)	
			利用者個々の排泄のサインを捉えてトイレ誘導されたり、記録からパターンを知り誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			毎日の食事になるべく多くの野菜を取り入れる。寒天ゼリーを召し上がっていただく。1日1000～1500の水分補給を促す。看護師による腹部マッサージ実施。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			無理強いせず、本人の希望を聞きながら入浴していただいているが、最低週2回以上は入っていただくよう支援している。	
			(外部評価)	
			一般家庭のような浴槽とほかに、車いすを利用されている利用者は、椅子に座ったまま入浴できるような浴槽も設置されている。ご本人が楽に入浴できるように、好まれるようである。使用する際には、介助や機械の操作等を細かくご本人に伝えながら支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			本人の希望により、休んでもらうようにしている。また、夜もテレビをみたりと個人のペースでしてもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの現在使われている薬を分かるように記載している。また薬の効能書きをファイルにとじ副作用等が分かるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者同士が楽しく会話できるよう環境づくりをしたり、散歩をしたり、おりがみ、壁画作成などをしていただいている。布巻き手作業も日課として行っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候がよく体調のよい時は、散歩、外気浴ができるよう努めている。	
			(外部評価) 事業所の愛犬の散歩をしたり、玄関先のベンチ等で外を眺めたりされている。季節の花を見に出かけたり、回転寿司で外食されたり、又、「あなたの希望に応える夢企画」に力を入れて取り組まれており、利用者個々の行ってみたいところに行けるような取り組みをすすめておられ、職員の体制や費用面等についても法人も応援してくださっている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在 ご自分でお金を管理している方は、1名いらっしゃる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人希望時、電話をかけてもらったり、家族、友人からの電話は引き継ぎを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間はすべて家庭的な雰囲気であり、また常に季節の草花を生けるなどしている。	
			(外部評価) 玄関先にはペチュニアの花が咲き、庭にはアジサイや季節の花木が整えられていた。居間は、壁面の飾りやつい立等でも季節を感じられるようにされている。共用空間の一角をカーテンで仕切って、ちょっと横になれるようなスペースを作っておられたり、コミュニケーションがあまり得意ではない方も共用空間で一緒に過ごせるよう、つい立等を用いて空間を作って、リラックスしてテレビを見られるようにされていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファを置き、くつろげる空間を確保している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 個々人によって生活用品を持ち込まれている方もおられるが、身寄りのいない方、また病院生活が長く、そのまま入居となった方は衣類と衣装ケースのみである。	
			(外部評価) 居室は、ソファを持ち込みご家族が来られた際にゆっくりと過ごせるようされていたり、ご家族やご本人の写真を飾っておられる方もあった。又、何も置かないことを望む方もあり、それぞれの希望や実情等を踏まえてしつらえておられた。居室入口には、担当職員が顔写真入りで掲示されていた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下には、すべて手すりが付いており、トイレのスペースも広く、すべてがバリアフリーになっている。車イスの方でもゆったりと湯船につかれるよう、機械浴を設置している。	